

し ふせ こ じ こ 知って防ごう 子どもの事故

じ こ おお かてい なか お
事故の多くは家庭の中で起きています

じ こ おとな
事故は大人の

はいりよ ふせ
配慮で防げます!

てんらく あたま う 転落して頭を打つ



べらん だやまど
ベランダや窓の
ちか 近くには 踏み台になる

ものは置かないで

ください。ベランダに出ないように
ガラス戸に鍵をかけましょう。



かいだん
階段はひとりで
のぼ お 上り下りしないよう
さく 柵をつけましょう

ほか てんらく てんとう きけん その他の転落や転倒の危険

なが おもちゃや歯ブラシ、箸などを口にくわえたまま
あそ 遊ばせないでください。転んで口の中をケガします。



じてんしゃ 補助いすに子どもを乗せたまま止めてその場を
はな 離れないでください。自転車が倒れた際に子どもの大けがにな
ります。必ずヘルメットをかぶるようにしましょう。

ベッドの柵は1番上まで上げてください。また、ソファには
ね 寝かさなないでください。ソファやベビーベッドから落ちて頭を
う 打ちます。

ゆ みず なか お おぼ れい お湯や水の中に落ちて溺れる例



よくそうない ゆ ぬ
浴槽内のお湯は抜いてください。
風呂場に入れられないように
かぎ 鍵をかけましょう。



せんたくき 洗濯機のふたはあけたままにしな
いようにしましょう。
せんたくき 洗濯機の前には踏み台になるもの
は置かないでください。



どうろ 道路では遊ばせないでください。
さんりんしゃ 三輪車に乗せるときは目を離さない
ようにしましょう。
くるま 車に乗せるときはチャイルドシート
を付けましょう。

いき てき ちっそく れい 息が出来ず窒息する例

やわ ふとん まくら つか
柔らかい布団や枕を使わないで
ください。顔をおおってしまうぬ
いぐるみなどは置かないでくださ
い。

すべり台や遊具で遊ぶときはひも
やフード付きの服は着せないでく
ださい。水筒やかばんを外して遊
ばせましょう



おもちゃや日用品は4cm以下のも
のは、子どもの手の届かないと
ころに置きましょう。誤って飲み込
んで窒息する可能性があります。



やけどをする例

なべ、電気ケトル、炊飯器、
アイロンなどに触れないように子
どもの近くで使わないでくださ
い。キッチンに入れないようにし
ましょう。



ライター、マッチなど火の元にな
るものは手の届かないところにし
まっておいてください。服に火が
付き、やけどをする可能性があります。



鈴鹿児童相談所

鈴鹿市西条5丁目117

(三重県鈴鹿庁舎保健所棟1階)

予約をしてください。相談は無料です
秘密を守ります。